

◎メチコバル錠 [内], ◎メチコバル注射液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】メコバラミン mecobalamin 【分類】ビタミンB12 製剤

【単位】▼250 $\mu$ g・◎500 $\mu$ g錠, ◎500 $\mu$ g/A [1mL]

【常用量】■内服：1500 $\mu$ g/日■注射：1日1回500 $\mu$ g

【用法】■内服：分3■注射：1日1回筋注・静注

【透析患者への投与方法】報告によって至適投与量、投与の是非について意見が一致しないが減量する必要はないと思われる (5)

【その他の報告】VB12として300~400 $\mu$ g/日の投与が望ましい (Kidney Int 43: 1319-1328, 1993) high flux 透析では透析による除去および食物中VB12摂取量の低下によって血清VB12濃度が低下する (Nephron 75: 259-263, 1997) VB12の補給剤としては投与する必要なし (Kidney Int 43: 1319-1328, 1993) 透析患者の血漿VB12濃度は健常者と差がない (Schweiz Med Wochenschr 114: 48-53, 1984) 注射：VB12投与によりホモシステイン濃度が低下するという報告もある (透析会誌 32 Suppl1: 674, 1999) 葉酸10mg/日にVB12静注を週2回追加してもホモシステイン濃度低下度は葉酸単独と有意差がなかった (Nephron 91 :58-63, 2002) 正球性貧血やESA抵抗性が低い状態でもVB12欠乏は否定できない (芝崎俊一, 他: 日腎会誌 58: 334, 2016)

【保存期 CKD患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】補酵素型VB12で他のVB12に比し神経組織への移行性に優れ、核酸合成促進やリン脂質合成を促進することにより障害された神経組織を修復する。しびれ・痛み・麻痺を改善。

【主な副作用・毒性】じん麻疹、湿疹、アナフィラキシー様症状、腹痛、悪性貧血の患者で軽度の赤血球増多症、血栓症

【モニターすべき項目】葉酸濃度、Ht、網状赤血球数、VB12濃度、血清カリウム濃度 (U)

【吸収】VB12は吸収不良症候群を除き、消化管より容易に吸収される。VB12は下部回腸で吸収される。VB12-IF (内因性の因子) 複合体は、小腸に至り、そこで回腸粘膜上の受容体に結合し、全身循環に入る (U) 吸収は透析患者でも健常者と同じ (Nephron 75: 259-263, 1997)

【tmax】内服：3hr (1)

【代謝】肝 (U)

【排泄】1日の必要量以上の過剰分は尿中に主に未変化体として排泄される (U) 【CL】9.1mL/min [iv] (Chandna SM, et al: Nephron 75: 259-263, 1997)

【t1/2】約6日 (U)

【蛋白結合率】非常に高い (transcobalamins と呼ばれる血漿蛋白と特異的に結合) (U)

【貯蔵】肝 (90%), 腎 (U)

【MW】1344.38

【透析性】High flux 膜を連続使用した患者では血清VB12濃度が低いという報告があるが、クリアランススタディは行っていない (Chandna SM, et al: Nephron 75: 259-263, 1997) High flux 透析では1回透析あたり0~0.45 $\mu$ gが除去される [iv] (Chandna SM, et al: Nephron 75: 259-63, 1997)

【TDMのポイント】TDMの対象にはならない 【pKa】2.7 (1)

【更新日】20200316

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。